

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	674 ふるさとの森公園管理費	会計	01	一般会計
		款	07	商工費
		項	01	商工費
		目	03	観光費
基本 施策	44 資源ともてなしの心を活かし、観光を振興する	細目	102	観光施設維持管理事業
		細々目	03	ふるさとの森公園管理費
		行革大綱の重点事項番号		
担当部課	コード	191400		担当者
	名 称	商工労働観光課		氏名
			川部 千佳	連絡先
			43 - 1544	(内線) 140

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	ふるさとの森公園利用者	※対象件数
成果(どうする)	住民福祉の増進に寄与するため、レクリエーション及び文化活動の場のほか、自然とのふれあい、地域住民の憩いの場と交流の場を提供する	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	○(財)伊賀市文化都市協会に阿山ふるさとの森公園を指定管理として委託した。 ・施設利用の受け付け、利用者へ備品の貸し出し、 ・施設の清掃及び警備 ・自主事業の実施	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	(財)伊賀市文化都市協会
2 配置人員	4 人
3 年間運営費	1,968 千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			年間開館日数	人	目標 318 実績 318	目標 316 実績 316

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				年間(暦年)の施設入込客数	過去3年間の入込客数実績平均を目標値に設定し、当該年度を評価	人	目標 35865 実績 32656

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計 (A)	2,264	2,221	3,666	2,818				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0	0						
一般財源	2,264	2,221	3,666	2,818				
事業投入人件費 (B)	0.3 人	2,160	0.3 人	2,160	0 人	0 人	0 人	0 人
フルコスト(A)+(B)	4,424	4,381	3,666	2,818				

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要 性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
有 効 性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	○
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	価値観の多様化、ライフスタイルの変化により、豊かな自然に親しみ健康で充実した余暇を求めるニーズが高まってきており、施設を快適・安全に利用していただくため適正な管理が必要である。	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業	○
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	観光客の安全確保のために最低限必要な維持管理であり、放置することにより事故等があれば市の安全管理責任が問われる。また、適正な維持管理を行わないことによる観光地としてのイメージダウンも懸念される。	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
効 率 性	予算の繰越の有無	無
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	施設の維持管理については、老朽化した箇所や損傷した箇所を早期発見、修繕等に努め極力経費を削減する。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の 取組状況	適正な維持管理を行い観光客の安全性・利便性・快適性を確保することができた。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	松本 浩典
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	観光客の安全確保等のため限られた予算の中で今後も最低限の修繕等を実施していくとともに、施設の長寿命化を図るため定期点検等を行い早期発見修繕等に努め極力経費を削減する。
現時点における 課題、その他	利用者減への対応及び施設の老朽化に伴う維持管理費コストの増。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	今年度において、利用者増をめざし、料金設定や使用形態など利用しやすい環境づくりの検討を行う。